

地域の会前回定例会以降の動き

令和7年9月3日

新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

8月7日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- モニタリングポスト等の時刻データの同期ができず、一時的にデータが表示されなくなった事象について、原因と対応策の説明を受けました。
- 6号機健全性確認中に発生した制御棒駆動機構スクラム試験における不具合の説明を受けるとともに、原寸大の制御棒駆動機構の模型を用いて事象発生状況を確認しました。

2 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する公聴会

8月24日及び31日、県民の皆様から、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する多様な意見を聞くため、公聴会を開催しました。

※ 当日の会場の模様は、新潟県公式YouTubeでご覧になれます。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/r7kouchoukaigaiyo.html>

3 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会

8月25日、令和7年度第1回技術委員会を開催しました。柏崎刈羽原子力発電所における衛星電話の故障や、複数回故障が発生したことにより原子力規制庁が行った追加検査について、東京電力と原子力規制庁から説明を受け内容を確認しました。

※ 委員会資料はホームページに掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/gijyututop.html>

4 原子力災害を想定した夜間航空機避難訓練

8月30日、原子力災害時における対応力の向上を図るため、原子力防災訓練の個別訓練として夜間航空機避難訓練を実施しました。

<参加者>

県、柏崎市、妙高市、陸上自衛隊、バス事業者
住民（柏崎市）12名

<訓練内容>

訓練行程	内容
【18:10～18:30】 妙高ふれあいパーク → 鯖石川改修記念公園	柏崎市職員が、陸上自衛隊航空機 UH-60JA で、鯖石川改修記念公園へ移動
【18:30～18:40】 鯖石川改修記念公園 → 松波コミュニティセンター	柏崎市職員は、鯖石川改修記念公園到着後、徒歩で一時集合場所（松波コミュニティセンター）へ移動
【19:00～19:20】 松波コミュニティセンター	住民受付、安全教育を実施
【19:20～19:30】 松波コミュニティセンター → 鯖石川改修記念公園	陸上自衛隊が誘導し、住民が徒歩で鯖石川改修記念公園へ 移動 併せて、傷病者（柏崎市職員）の車椅子での搬送を実施
【19:30～20:15】 鯖石川改修記念公園 → 鯖石川改修記念公園	陸上自衛隊航空機 UH-60JA で、上空を旋回後、鯖石川改修記念公園へ降機 ^(※)

※ 当日、避難先の妙高市付近で、ヘリコプターの運行に支障が出るほどの雲の発生が予想され、視界が確保できないことが見込まれたことから、着陸場所を柏崎市に変更して実施

5 新潟県原子力発電所周辺環境監視評価会議

9月3日、第83回評価会議を開催し、令和6年度の環境放射線監視調査結果及び温排水等漁業調査結果について評価していただきました。

[各調査結果の評価（概要）]

- ・ 環境放射線監視調査結果
柏崎刈羽原子力発電所からの周辺環境への影響は無視できる。
- ・ 温排水等漁業調査結果
過去と比較して特異な傾向は認められなかった。

※ 会議資料はホームページに掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/genshiryoku/83hyoukakaigikekka.html>

6 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民意識調査

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の多様な意見を把握するため、県民意識調査を実施します。

9月3日：報道発表 [柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民意識調査の実施について]

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民意識調査の実施について

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する県民の多様な意見を把握するため、下記の通り意識調査を実施します。

記

1 主な調査内容（具体の設問や選択肢は、別添調査票のとおり）

- ・原子力発電所の必要性の認識・再稼働への関心（問1、2）
- ・柏崎刈羽原子力発電所の安全対策、原子力災害に備えた防災対策の認識（問3、4）
- ・柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方（問5）

2 調査数

県内30市町村を対象とした調査	6,000
PAZ・UPZ9市町村を対象とした追加調査	6,000
合計	12,000（うちPAZ・UPZ市町村 8,070）

3 今後のスケジュール

9月3日（水）	調査票発送
9月18日（木）	回答締切
9月末頃	事業者から県への途中経過報告
10月末頃	事業者から県への調査結果報告

本件についての問い合わせ先
原子力安全対策課 石山、山田
（直通）025-282-1639（内線）6463

柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題に関する 県民の意識調査 調査票

～ ご協力のお願い ～

県では、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働問題について、県民の多様な意見を把握するため、地域・年代・性別等の幅広い属性を対象に今回の調査を実施しています。

ご多用のところ大変恐れ入りますが、今後の再稼働問題に係る検討にあたって重要な調査でありますので、**9月18日(木)まで**に、本調査票にご回答いただき同封の返信用封筒によりご投函いただくか、以下の専用 WEB ページからご回答いただけますよう、お願いいたします。

なお、この調査は選挙人名簿抄本から無作為に抽出した県民の皆さま 1 万 2 千人にお願いするものです。

ご記入にあたってのお願い

- この調査は無記名式であり、調査で得られた結果はすべて統計的に処理されるため、個人が特定されることはございません。また、調査目的以外には使用いたしませんので、ご協力いただいた方にご迷惑のかかることは一切ございません。日頃のお考えを率直にお答えください。
- アンケートへの回答は、封筒のあて名の方**ご本人がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、代筆でも構いません。**
- お答えは原則として、問 1 から順に、質問ごとに用意した答えの中から、あなた（あなたのお考え）にあてはまる番号を○印で囲んでください。（問 5 - 2、問 6 は番号を記載ください。また問 5 - 3、5 - 4 は記述ください。）質問文に「1 つだけ」、「いくつでも」などの指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。

本アンケート調査は、WEB からのご回答いただけます

次の URL 又は右の 2 次元コードからアンケート画面へお入りください。

URL :

ログイン画面が表示されますので、以下の ID とパスワードを入力してご回答ください。

ID

パスワード

※この ID とパスワードは、重複回答を防ぐためのものでランダムに設定されています。個人を特定するものではありません。

※**WEB からご回答いただく場合は、調査票への記入・返信は不要**です。

【お問い合わせ先】（平日 9 時 0 0 分から 1 7 時 1 5 分まで）

アンケートの趣旨や内容に関する お問い合わせ	新潟県防災局原子力安全対策課 (〒950-8570 新潟市中央区新光町 4-1)	電話 : 025-282-1698
記入方法や WEB からの回答方法 などのお問い合わせ	株式会社スピードリサーチ (〒950-0026 新潟市東区小金町 1-7-1)	電話 : 025-270-3800

【原子力発電所の必要性について】

問 1 柏崎刈羽原子力発電所に限らず、日本における原子力発電所の必要性について、あなたのお考えに最も近いものをお選びください。(○は1つだけ)

1. 必要だと思う
2. どちらかと言えば必要だと思う
3. あまり必要だと思わない
4. 必要だと思わない
5. わからない

【柏崎刈羽原子力発電所に関するご関心について】

問 2 柏崎刈羽原子力発電所の再稼働に関してどの程度ご関心がありますか。あなたのお考えに最も近いものをお選びください。(○は1つだけ)

- 1 強い関心がある
- 2 関心がある
- 3 あまり関心が無い
- 4 まったく関心が無い

【柏崎刈羽原子力発電所の安全対策について】

福島第一原子力発電所事故の教訓や原子力規制委員会が策定した新規制基準などを踏まえ、柏崎刈羽原子力発電所では、さまざまな「安全対策の強化」が行われています。(詳しく知りたい場合は「別紙」をご参照ください)

問 3-1 あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。写真や図で示した対策例を1つでも知っていれば「1」(知っている)、ひとつも知らなければ「2」(知らない)をお選びください。(○は横方向にそれぞれ1つずつ)

		知っている	知らない
回答例 ⇒		①	2
(1)	<p>津波による浸水を防ぐために強化した対策</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(対策例)</p>  <p>防潮堤 (5~7号機側) 高さ3mの盛土と合わせ海拔15mの堤防を設置</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(対策例)</p>  <p>水密扉 建屋内への浸水を防ぐ扉を増設</p> </div> </div>	1	2
(2)	<p>火災・竜巻等自然災害に備え強化した対策</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(対策例)</p>  <p>森林火災延焼防止のための防火帯</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(対策例)</p>  <p>車両などの固縛 竜巻による飛来物の発生防止や防護対策</p> </div> </div>	1	2

(次のページに続きます)

		知っている	知らない
(3)	<p>電源を絶やさないために強化した対策</p> <p>(対策例)</p>  <p>ガスタービン発電機を搭載した車</p>  <p>電源車</p> <p>これらの車両は、発電所構内の津波の影響を受けない場所に配置</p>	1	2
(4)	<p>原子炉を冷やし続けるために強化した対策</p> <p>(対策例)</p>  <p>高圧代替注水ポンプ 原子炉に注水する蒸気駆動 (制御電源不要)のポンプ</p>  <p>淡水貯水池 原子炉や使用済燃料プールの 冷却のために使用</p>	1	2
(5)	<p>重大事故を想定して強化した対策</p> <p>(対策例)</p> <p>代替循環冷却設備 可搬型の設備も用いた 新たな除熱設備</p> <p>フィルタベント設備 放射性物質を含むガスをフィルタを通し濃度を下げて放出</p>	1	2
(6)	<p>(1)～(5)を踏まえた緊急時の対応力を強化する訓練</p> <p>(例)</p>   <p>津波や地震などの自然災害や重大事故を想定した訓練を定期的を実施</p>	1	2

問3-2 問3-1の対策を含め、柏崎刈羽原子力発電所で実施されている対策により、安全性はどの程度確保されていると思いますか。最も近いものをお選びください。(○は1つだけ)

1. 十分確保されている	2. おおむね確保されている	3. あまり確保されていない	4. まったく確保されていない	5. わからない
--------------	----------------	----------------	-----------------	----------

【原子力災害に備えた防災対策について】

問 4 - 1 県では、柏崎刈羽原子力発電所からの距離に応じて、半径概ね 5 km 圏を PAZ（放射性物質放出前に避難等を実施する区域）、半径概ね 5 ～ 30km 圏を UPZ（放射性物質放出に備えて屋内退避し、放出後は放射線量に応じて避難等を実施する区域）と設定しています。

あなたは PAZ や UPZ について知っていますか。（○は 1 つだけ）

- | | | |
|--------------------|--------------|---------|
| 1. 言葉だけでなく内容も知っている | 2. 言葉だけ知っている | 3. 知らない |
|--------------------|--------------|---------|

柏崎刈羽原子力発電所で原子力災害が発生した場合に備え、さまざまな「防災対策」が行われています。

問 4 - 2 あなたは以下の対策が行われていることを知っていますか。（○は横方向にそれぞれ 1 つずつ）

		知っている	知らない
回答例 ⇒		①	2
(1)	県や市町村による避難計画の策定 原子力災害時の情報伝達や住民の避難方法、避難先市町村などの対応をまとめた避難計画を策定しています。	1	2
(2)	住民避難をより円滑にするための避難路の整備や除排雪体制の強化 国と県で協議し、既存道路の改修やスマートインター新設等を進めています。 また、消雪パイプの整備等、除排雪体制の強化に向けて取り組んでいます。	1	2
(3)	避難に使用するバス等の交通手段の確保 県バス協会や県ハイヤー・タクシー協会等と避難者の輸送のための協力協定を締結し、訓練等を通じて連携を深めています。	1	2
(4)	医療機関や福祉施設などの放射線防護対策（建物の気密化等） 無理に避難することで健康リスクが高まる人が、安全に避難する準備が整うまで屋内に留まるための施設の整備を進めています。	1	2
(5)	自宅以外で屋内退避が実施できる施設の改修 自宅等が損壊した場合に、避難所となる学校の体育館等で屋内退避できるよう、空調設備の設置等に向け国と取組みを進めています。	1	2
(6)	安定ヨウ素剤の事前配布・備蓄 甲状腺の内部被ばくを低減する安定ヨウ素剤の事前配布や備蓄を行っています。	1	2
(7)	放射線量を観測する設備（モニタリングポスト等）の設置 県内にモニタリングポストを設置し、常時、放射線量を観測するとともに、結果をホームページで公開しています。	1	2
(8)	原子力防災訓練の実施 国や市町村等と、原子力災害と地震や積雪との複合災害を想定した訓練を行っています。	1	2

問 4 - 3 問 4 - 2 で選択した対策に限らず、防災への取り組みはどの程度実施できていると思いますか。最も近いものをお選びください。（○は 1 つだけ）

- | | | | | |
|--------------|----------------|----------------|-----------------|----------|
| 1. 十分実施できている | 2. おおむね実施できている | 3. あまり実施できていない | 4. まったく実施できていない | 5. わからない |
|--------------|----------------|----------------|-----------------|----------|

【柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方】

問5-1 以下には柏崎刈羽原子力発電所6号機・7号機の再稼働に関する考え方を挙げています。

以下のそれぞれについて、あなたご自身のお考えをお選びください。なお、あなたに該当しないことでも、その立場に立ってお答えください。(○は横方向にそれぞれ1つずつ)

そう思う	どちらかといえば	どちらかといえは	そうは思わない
------	----------	----------	---------

	回答例⇒	1	2	3	4
発電所の安全・安心					
(1) 福島第一原発事故の教訓等を踏まえ十分な安全対策が取られている		1	2	3	4
(2) 東京電力が柏崎刈羽原子力発電所を運転することは心配だ		1	2	3	4
避難等防災対策					
(3) 安全に避難できるよう、避難路のさらなる整備が必要だ		1	2	3	4
(4) 安全に屋内退避できるよう、放射線防護対策の整った施設のさらなる整備が必要だ		1	2	3	4
(5) 豪雪時に安全に避難・屋内退避できるよう、除雪体制のさらなる整備が必要だ		1	2	3	4
再稼働による影響					
(6) 電力の安定供給につながる		1	2	3	4
(7) 地球温暖化対策につながる		1	2	3	4
(8) 地域経済や雇用に良い影響がある		1	2	3	4
(9) 自分の住む地域にさらなる具体的なメリットが必要だ		1	2	3	4
(10) 原子力災害が発生した場合、風評被害が起きないか心配だ		1	2	3	4
(11) 原子力災害が発生した場合、十分な補償を受けられるか心配だ		1	2	3	4
(12) 原発の使用済核燃料が増えていくことが問題だ		1	2	3	4
その他					
(13) 6号機・7号機以外については、いくつかの号機の廃炉を進めることが必要だ		1	2	3	4
(14) 再稼働の条件は現状で整っている		1	2	3	4
(15) どのような対策を行ったとしても再稼働すべきでない		1	2	3	4

問5-2 問5-1のうち、あなたが6号機・7号機の再稼働を考えるにあたって、特に重要と考えるものをお選びください。

((1) ~ (13) の中で、1位から3位まで1つずつ選んで、下の回答欄に番号を記入してください)

＜回答欄＞	1位	2位	3位
	()	()	()

問5-3 問5-1のうち (1) ~ (13) 以外であなたが重要と考えることがあれば記入してください。

問5-4 問5-2、5-3のようにお考えになったきっかけや理由があれば具体的に記入してください。

【あなたご自身について】

問6 あなたがお住まいおよび通勤または通学している市町村についてお答えください。

長岡市、柏崎市、十日町市、燕市、上越市にお住まい、または通勤・通学されている方は、右のページの図表にて **PAZ・UPZ 内かどうか**をご確認ください。（下記の回答欄に番号を記入）

<回答欄>		お住まいの市町村		通勤または通学している市町村	

1	新潟市		1 4	燕市	UPZ	2 7	弥彦村
2	長岡市	UPZ	1 5		UPZ 外	2 8	田上町
3		UPZ 外	1 6	糸魚川市		2 9	阿賀町
4	三条市		1 7	妙高市		3 0	出雲崎町
5	柏崎市	PAZ	1 8	五泉市		3 1	湯沢町
6		UPZ	1 9	上越市	UPZ	3 2	津南町
7	新発田市		2 0		UPZ 外	3 3	刈羽村
8	小千谷市		2 1	阿賀野市		3 4	関川村
9	加茂市		2 2	佐渡市		3 5	粟島浦村
1 0	十日町市	UPZ	2 3	魚沼市		3 6	新潟県外
1 1		UPZ 外	2 4	南魚沼市		3 7	通勤・通学していない
1 2	見附市		2 5	胎内市			
1 3	村上市		2 6	聖籠町			

PAZ・UPZ の区分について

<h3>PAZ</h3> <p>Precautionary Action Zone</p> <p>(放射性物質放出前に避難等を実施する区域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発電所を中心とする半径概ね 5 km圏 ● 主として放射性物質放出の前に避難が実施できるよう準備する区域 	<ul style="list-style-type: none"> ● 柏崎市の一部 <ul style="list-style-type: none"> ・高浜地区 (【町内会】大湊、宮川、椎谷) ・荒浜地区 (【町内会】荒浜) ・松波地区 (【町内会】松波) ・西中通地区 (【町内会】春日、橋場、下原、上原、山本、土合、劔、下大新田、長崎、長崎新田) ・中通地区 (【町内会】曾地新田、花田、飯塚、曾地、吉井、矢田、菊尾、成沢、五十土、小黑須) ・南部地区 (【町内会】五日市、内方、大坪、北野、妙法寺) ・二田地区 (【町内会】坂田、二田、鬼王、黒部、長嶺、後谷、西山、和田、新保、緑が丘、中央台) ● 刈羽村 (村内全域) 	
<h3>UPZ</h3> <p>Urgent Protective action planning Zone</p> <p>(放射性物質放出に備えて屋内退避し、放出後は放射線量に応じて避難等を実施する区域)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 発電所を中心とする半径概ね 5～30 km圏 ● 事故の不確実性や急速な進展の可能性などを踏まえ、防災対策を実施する区域 	<ul style="list-style-type: none"> ● 柏崎市の一部 (PAZ を除く区域) ● 長岡市の一部 <ul style="list-style-type: none"> 千手地区、四郎丸地区、豊田地区、阪之上地区、表町地区、中島地区、神田地区、川崎地区、新町地区、大島地区、希望が丘地区、宮内地区、十日町地区、六日市地区、太田地区、山通地区、栖吉地区、富曾亀地区、山本地区、新組地区、黒条地区、下川西地区、上川西地区、福戸地区、王寺川地区、日越地区、関原地区、宮本地区、大積地区、深才地区、青葉台地区、中之島地域、越路地域、三島地域、山古志地域、小国地域、和島地域、寺泊地域、与板地域、川口地域 ● 小千谷市 (市内全域) ● 十日町市の一部 <ul style="list-style-type: none"> 【十日町地域】(下条地区) 上新田第 1、上新田第 2、上新田第 3、上新田第 4、山際、原、廿日城、岩野、下条栄町、下条中央通り、桑原、野田、蟹沢、為永、下条本町、山根、貝ノ川、新保、水口、下条下山、新光寺、仙之山、平、澁野、二子、願入、塩野 【川西地域】(上野地区) 上野、元町、新町新田、下平新田 (橋地区) 木落、寺ヶ崎、塩辛、仁田、野口、四十歩、原田、根深、下原 (仙田地区) 中仙田、室島、小脇、高倉、田戸、赤谷、岩瀬、大白倉、小白倉 【松代地域】(峰方地区) 清水、桐山 (山平地区) 筋平 ● 見附市 (市内全域) ● 燕市の一部 <ul style="list-style-type: none"> 大河津分水路左岸側の地域 (渡部、真木山、幕島、大川津興野、下中条) ● 上越市の一部 <ul style="list-style-type: none"> 柿崎区：全域、吉川区：全域、浦川原区：小麦平町内会、大島区：板山町内会、田麦町内会、竹平町内会、藤尾町内会、大潟区：雁子浜町内会、内雁子町内会 ● 出雲崎町 (町内全域) 	
<h3>UPZ 外</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● UPZ の外の県内全域 ● 緊急時モニタリングのほか、必要に応じて屋内退避や避難、安定ヨウ素剤の服用や飲食物の摂取制限等を実施する地域 	<ul style="list-style-type: none"> ● 長岡市の一部 (栃尾地域) ● 十日町市の一部 (UPZ を除く地域) ● 燕市の一部 (UPZ を除く地域) ● 上越市の一部 (UPZ を除く地域) ● 新潟市 ● 三条市 ● 新発田市 ● 加茂市 ● 村上市 ● 五泉市 ● 阿賀野市 ● 胎内市 ● 聖籠町 	<ul style="list-style-type: none"> ● 弥彦村 ● 田上町 ● 阿賀町 ● 関川村 ● 魚沼市 ● 南魚沼市 ● 湯沢町 ● 津南町 ● 糸魚川市 ● 妙高市 ● 佐渡市 ● 粟島浦村

それぞれの区域における避難するときにとるべき行動などは、別紙をご参照ください。

福島第一原発事故では、地震・津波により、外部電源や所内電源といった電源を同時に失いました。これにより、原子炉や原子炉格納容器を冷やす安全機能を失ったことで、炉心損傷（シビアアクシデント）が発生し、水素の発生・漏えいにより、放射性物質の大量放出や原子炉建屋の水素爆発に至りました。

事故の教訓を受けて策定された新規制基準は、共通要因による安全機能喪失やシビアアクシデントの進展を防止する対策を要求しています。例えば、電源については、可搬型の代替電源設備を設け、それらが共通の要因によって同時に機能喪失することがないように、独立性の確保や分散配置を図ることとされています。また、自然現象の想定と対策を大幅に引き上げるとともに、自然現象以外でも対策を強化しています。

自然現象への対応

地震・津波の評価の厳格化・耐震対策、津波浸水対策の導入、多様性・独立性を十分に配慮した対策、火山・竜巻・森林火災の評価の厳格化を実施しています。

■地震の揺れへの対策

原子炉建屋は、地震の揺れの影響を受けにくい岩盤上に設置されています。2007年7月の新潟県中越沖地震を踏まえ、建屋内の配管等のサポートの追加・強化などが行われています。

■津波による浸水を防ぐために強化した対策（1ページ(1)）

柏崎刈羽原子力発電所で想定される約7～8mの高さの津波に対し、5～7号機側では海拔12mの敷地に高さ3mの盛土をし、海拔15mの防潮堤が設置されています。また、浸水を防げなかった場合を想定し、水密扉が追加設置され重要なエリアを守っています。

■火災・竜巻等自然災害に備え強化した対策（1ページ(2)）

森林火災による延焼を防止するため樹木を伐採し、可燃物のない防火帯の整備や、日本海沿岸部での過去最大クラスの竜巻（風速69m/秒）を超える竜巻（風速92m/秒）を想定した防護対策が行われています。

自然現象以外への対応

■電源を絶やさないために強化した対策（2ページ(3)）

発電機を搭載した空冷式ガスタービン発電機車や電源車が、発電所構内の津波の影響を受けない場所に分散配置されています。

重大事故（シビアアクシデント）の進展を食い止める対策

■原子炉を冷やし続けるために強化した対策（2ページ(4)）

原子炉に注水する蒸気駆動（制御電源不要）の高圧ポンプや、原子炉を冷やす水を供給する淡水貯水池（原子炉や使用済燃料プールに淡水を7日間以上供給できます）が設置されています。

■重大事故を想定して強化した対策（2ページ(5)）

代替循環冷却設備：原子炉や格納容器内の除熱のため、電源車など可搬型設備も用いた除熱設備が設置されています。これにより、従来の設備が使えなくなった後でも、少なくとも7日間は放射性物質放出を防ぐことができます。

フィルタベント設備：原子炉格納容器に滞留するガスをフィルタベント設備を通して大気に逃すことで、セシウムなどの粒子状物質及び無機ヨウ素の99.9%以上を除去します。また、ヨウ素フィルタにより有機ヨウ素の98%以上を除去します。

その他

テロリズムその他犯罪行為（サイバー攻撃等）の発生も想定した対応が義務づけられています。また、新規制基準に基づき許可を得た施設であっても最新の基準への適合が義務づけられており、最新の知見が反映される仕組みとなっています。

原発事故に備えるための基礎知識 1 PAZとUPZとは?

原子力災害対策を重点的に行う区域として、原子力発電所からの距離によって、PAZとUPZに分かれているの。あなたはどの区域か覚えているかしら?



私が住んでいるのは柏崎市の中通地区だから…
PAZね!
でも、なんで区域を分けているんだっけ?

PAZ (予防的防護措置を準備する区域)
原子力発電所を中心とする半径概ね5km圏

柏崎市の一部 (高浜地区、荒浜地区、松波地区、南部地区、二田地区、中通地区、西中通地区)
刈羽村

UPZ (緊急防護措置を準備する区域)
原子力発電所を中心とする半径概ね5~30km圏

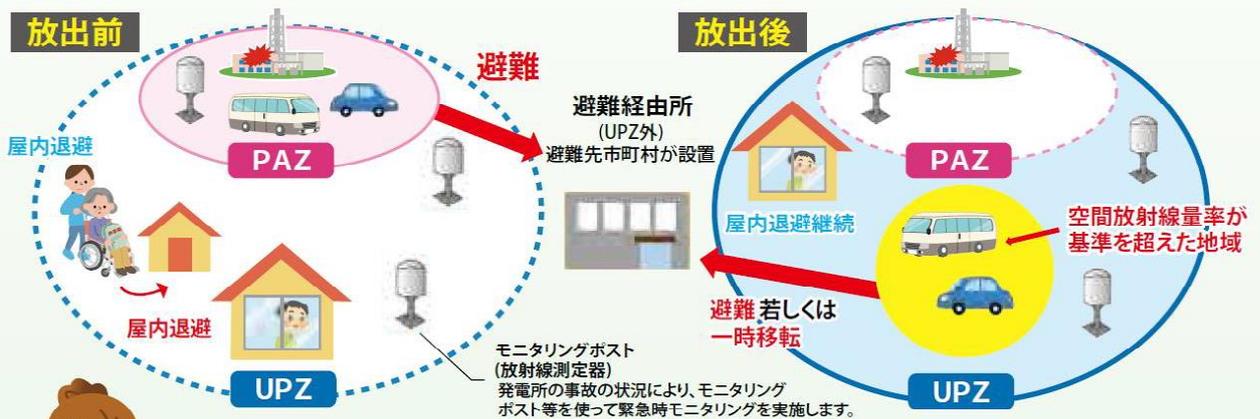
柏崎市の一部 (左記地区以外の全ての地区)
長岡市の大部分 (栃尾地域を除く全市域)
小千谷市、十日町市の一部、見附市、燕市の一部、上越市の一部、出雲崎町

原発事故に備えるための基礎知識 2 PAZとUPZでとるべき行動が違います

区域により、原発事故時にとるべき行動が違うからよ。表とイメージ図を次にまとめてみたわ。県や市町村から、地域によって「いつ」、「何をするか」の指示が出されるの。



	放射性物質放出前	放射性物質放出後
PAZ 半径概ね5km圏	避難 ※避難することで健康リスクを高めると判断される者は、屋内退避	—
UPZ 半径概ね5~30km圏	屋内退避 ※自宅が倒壊等した場合は、近隣の避難所等で実施	屋内退避継続 ※空間放射線量率の測定結果により、基準値を超えた地域は、避難等



私が住んでいる地区はPAZだから、放射性物質が放出される前に県や市町村から避難の指示があるのね。

発電所で事故が起きた時は…

原子力発電所で事故が発生した場合、PAZ・UPZ やその外など、お住まいの地域にかかわらず、**まずは正確な情報を集めることが重要です**。県や市町村が、発電所の状況や放射線による影響について、テレビ・ラジオ・携帯電話・防災無線など様々な手段を使って情報をお伝えしますので、あわてずに落ち着いて行動してください。